実習課題7\_2に対する回答

学生番号 : 15822108

氏名 : 堀田大智

ex7\_2.cをコンパイルして実行すると、”in clear 1”, ”in clear 2”のどちらも全て0を取る点は変わらなかったが、それらを行った後の”in main”内の情報が”in clear 1”の後では元の情報のまま、”in clear 2”の後ではすべて0に変化していた。

最初の”in main”においてprint\_data(personal\_data d)に与えている変数は配列のdata[0]であり、print\_dataで定義されているdataは配列ではないが、それでも結果がしっかりと表示されているので配列ではない変数を引数とする関数に、配列の一つを与えても問題ないことがわかる。よって”in clear 1”と”in clear 2”で違いが生じたのはmain関数内で与えた変数に問題があるのではなく、自作関数の定義側に問題があると考えられる。” clear 1”で引数に定義している変数は変数dであり”clear 2”で引数に定義している変数は配列d[]である。配列はグローバル変数のように、自作関数で変更された内容がメイン関数にも反映されるので、”clear 2”にて配列d[0]の中身を変更したものが反映され、そのあと”in main”でprint\_dataした場合にすべて0となったと考えられる。